

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2019年3月14日

保護者等数:22 回収数:22 回収率 100%

		チェック項目	はい	どちら もない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5	3		ゆうぎ室がやや狭いように感じる。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	11	3		職員の数を増やしてほしい。 保育士の資格がある人が少ないし、一人の子どもに一人の先生がつきっきりになるので他の子どもに目が届いていない。	国や行政の基準に当てはめて職員配置を行っていますが、十分でないことを認識しています。子どもの安全に配慮し、楽しく過ごせることができる職員配置ができるよう努力していきます。
	3	生活空間は、子ども本人にこの部屋で何をするのか示す等わかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	8	6		建物が古く建て替えが必要。バリアフリーになっていないので、身体障害がある子どもに配慮がされていない。また、危険などもある。 子どものマークが子どもに分かりにくい。	建物が古くご不便、ご迷惑をおかけしています。建物の老朽化については、必要な修繕、改善に努めるとともに、建て替えに向けても法人内だけでなく、行政に向けても働きかけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	1	12	9		清潔からは程遠く劣悪な環境。 清潔とは言いがたいが、先生は努力されている。 タオル入れ、歯ブラシやコップを入れるカゴ、タンスの中が汚いことがある。	古い＝汚いではなく、清潔に配慮し、改善に努めていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	2	2	2		
	6	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	17	2	1	2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	4	1	2	トイトレや偏食に関して計画に沿って十分に行われていない。	子どもの障害や発達段階を丁寧にとらえなおし、子どもの豊かな育ちを保障できる計画を具体化できるよう、努力します。
	8	日々のあそびや生活が、子どもに合わせて柔軟に工夫されているか	17	1	1	3	個々に合わせた配慮は感じるが、工夫されているかは分からない。 子どもの好きなあそびが広がった。 いろんなあそびができていると思う。	また日々の保育については、一人一人の発達や障害が違い保育づくりの難しさがありますが子どもたちの要求となるあそびをより豊かに広げていけるよう、引き続き努力します。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか	6	3	8	5	交流はしたことがない。 おまつり等の交流はあるが、あまり広範囲ではない。 年長さんが交流できているのはすばらしいが、その他の子どもにも機会があるとよい。	年長クラスを中心に地域の保育園との交流保育を継続的に行っていますが、年少以下のクラスでは現状難しさもあります。日々の保育の中(公園へのお散歩)などを通じて地域とのつながりを大切にしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	4		2	入園したての頃に説明があった気がするが分からない。	保護者に向けての説明が不十分であったり、説明不足なところも多いかと思います。特に新入児の保護者の皆さんに向けては、より丁寧な説明、お伝えができるよう配慮します。
	11	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	1		3		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(子どもと一緒に捉え、理解を深める支援)が行われているか	13	6	1	2	家族支援プログラムという言葉はきいたことがない	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	1	3	1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	5	2		園側の意向で何度も面談や話が続くのはしつこいと思うことがある。 個人面談というものはない。立ち話は面談になるのか。きちんと時間をとって育児への助言が欲しい。	
	15	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2	2	2	保護者会幹部と園の距離が近すぎて、保護者会が園と一体化してしまっている。保護者会として、自立した考えを持ってほしい。 ママ同士は仲が良いと思う。でも子供の障害の度合いで話が合わない時がある。	引き続き、保護者会にもご協力いただきながらより良い施設運営を目指していきます。 保護者会として、今後も率直なご意見をお寄せください。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていると	14	4	4		子供の将来や子育てなどについて相談したいのに先生方は忙しいのか、なかなか		

		ともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか					時間をとってくれない。なので、ママ同士でモヤモヤしながら話をしていることが多々ある。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	5	1	2		
	18	定期的に園だよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	2	1	1	行事のくわしいことが前日くらいにならないと知らせてもらえない。家の都合もあるので、早めに知らせてほしい。	お知らせ等が、日程ぎりぎりになってしまう k 十を反省し、見直しをもってお伝えできるよう改善に努めます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	1	1	2		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	4	1	2	保護者も災害時の場合を想定し、送迎の訓練などした方が良かったと思った。マニュアルはあると思うが、見たことがない。	保護者向けに公開しているマニュアルについても今後整備していきます。また、毎月の避難訓練だけでなく、不審者や送迎車における事故、避難訓練も適宜行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	3		2	訓練しているところを見たことがない。	毎月 11 日を訓練日として行い、連絡ノート等でお伝えしていますが、親子登園日での実施も増やすよう検討します。
満足感	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	4		2	していない、早く帰りたいがる。毎日本当に楽しそうにしている。	子どもたちや保護者の皆様に信頼され、子どもたちが毎日楽しく登園できる保育づくり、療育の内容を充実していけるよう、職員全体で努力していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	15	5	1	1	支援らしい支援がされているのかどうか、わからない。支援には満足しているが、建物の老朽化、先生の人数の足りなさを感じる	

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:2019年 3月 公表:2019年 3月 14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4		・クラスによって子どもの人数に対してスペースが改善されるとなおよい。
	2 職員の配置数は適切である	3	5		・基準に対して適切だが、質の向上の為に増やしたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	3	・古い施設(建物)なので、清掃等と併せ、改装等行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		・職員集団での振り返りをより深く行えるよう改善したい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・法人内の他施設とも連携し、共に研修を行うなど工夫している。	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8				
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	8			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・その日の振り返り、次の日の打ち合わせが保障できないクラスがある日もあり、工夫が必要。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1		
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8			
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		
保護者の説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1		・保護者会研修として学習の機会や先輩の保護者と交流を行ったり、保護者会活動として位置付ける等している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・毎日の連絡ノートのやりとりに加え、直接お会いする時に話し合い、適宜懇談等も行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・対応が遅くなってしまうこともあり、職員がニーズを把握することや集団的に捉えて対応することに課題がある。

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8			・マニュアルを完成させ、保護者にも周知することに課題がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	3		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。